

## 後藤文彦先生，吉富和雄先生の名誉教授記念号に寄せて

経営学部長 吉岡 一郎

後藤文彦先生，吉富和雄先生は，平成23年3月末をもって京都産業大学をご退職されました。後藤先生は昭和39年に関西学院大学経済学部をご卒業後，関西学院大学大学院商学研究科修士課程，博士課程を修了され，本学にご勤務なさいましたのは，昭和44年のことで爾来43年，教育・研究を通じて本学の発展に寄与されてこられました。また吉富和雄先生は昭和43年に関西学院大学商学部をご卒業されたのち，関西学院大学大学院商学研究科修士課程，大阪府立大学大学院経済学研究科博士課程を修了されたのちに昭和49年に本学に着任され爾来38年，教育・研究を通じて本学の発展に寄与されてこられました。その長年のご功績により，両先生はご退職と同時に京都産業大学から名誉教授の称号を授与されました。それを記念して本号を発行させていただくことは，われわれ関係者一同の大きな喜びであります。

まず後藤先生に関してですが，昭和44年に京都産業大学経営学部専任講師として着任され，昭和48年に助教授，そして昭和56年に教授に昇進され，経営学部の研究・教育活動の中心となってお活躍いただきました。その間，平成7年から2期4年の間，経営学部長もお勤めになりました。先生の御研究領域はあまりに多岐にわたり，どれもが素晴らしい業績であるため，先生のご専門領域を特定するのは非常に困難なことです。私なりにあえてひとつ挙げるとするならば，平成10年に関西学院大学で博士号を取得されました税務会計領域となるのでしょうか。また研究意欲が旺盛でいらっしやいますため，その研究活動領域はご専門の会計にとどまらず，ご退官直前には現在本学が特に力を入れて推進しようとしている「就業力育成」の中心メンバーとしてご活躍されておられたのは記憶に新しいところです。博識でやさしくて後輩の指導に熱心でおられた先生が，これからもますますお元気で活躍されることを，心より祈念いたします。

つづいて吉富先生に関してですが，昭和49年に京都産業大学経営学部専任講師として着任され，昭和53年に助教授，そして昭和62年に教授に昇進され，経営学部の研究・教育活動の中心となってお活躍いただきました。その間，平成21年から1期2年の間，経営学部長もお勤めになりました。先生は学部では「経営組織論」をご担当されておられました。先生のご専門は，門外漢の私が失礼ながら推測するに，ドイツ経営学に基づく経営組織論およびそれが発展して組織学説史に至られたのではないかと存じます。また先生におかれましてはその貴重なご研究はもちろんですが，「走る経営学部長」としてのトライアスロン活動に関するお話も欠くことができないと思います。また私の個人的な話ですが，先生の学部長時代に私が副学部長として任命され，学部運営においていろいろとご指導賜りましたことは感謝しきれるものではありません。明るくてスリムでダンディでいらっしやる先生が，これからもますますお元気で活躍されることを，心より祈念いたします。

